

魅力ある子育て支援について

Q. 最近では、共働きの教育、子育て世代は、自然豊か、教育、公園を重視する傾向があるように、児童遊園の拡充というのも一つのテーマだと思おうので、ぜひ検討して欲しい。

A. 市内の児童遊園は44カ所あり、全く遊具のない児童遊園もあります。少子化で環境も変わってきており、家の中でゲームをやる子どもが増え、公園で遊ぶ子どもも減ってはいるのですが、子どもの健全な心身の育成の場としても児童遊園は確保する必要があります。現在、福祉センターにある老朽化している遊具を撤去して、新しく入れ替えを行うことを検討しております。



テーマ2 公共交通について

モバスの利便性向上について

Q. モバスがどこを走っているのか正直分かりにくい。これはバス全体に言えることかもしれないが、時刻表やコースが鉄道に比べて分かりにくいので、改善して欲しい。

A. モバスが分かりにくいとのことですが、スマホで目的地までの交通機関を検索できるとモバスの構築がまだできておりません。こちらは、私が就任してすぐ行おうと思っていたのですが、関係団体も多く、対応の可否など諸事情もございます。そうとはいえず、マホで時刻表やコースを大きく掲示する等ができると思いますので、できることからまずやりたいと思います。

※マース (Maas)
「Mobility as a Service」の略で、鉄道、バス、タクシーなどの複数の移動手段をスマホアプリ等で一括検索、予約、決済できる統合モビリティサービス



市内全域でのデマンド交通の利用について

Q. デマンド交通を市内全域に広げれば、使い勝手が良い。全ての市民が好きな時間に、好きな所へ行ける一つの手段として、範囲を市内全域に拡大するというのは、大きなメリットがあると思うので、ぜひ検討して欲しい。

A. デマンド交通の市内全域にわたっての運用、そして、茂原駅を中心とした循環バスの設置、どれも指摘いただいた通りだと思えます。

現在、担当課とも協議はしておりますが、困難な部分もございますが、少しでも便利になったと言われようような変化をも

たらしたいと思えますので、前向きに検討したいと思えます。

公共交通に関連したJRとの都市計画について

Q. 都市計画の資料で、本納駅の東口線・西口線、あるいは新茂原駅の東口線、西口線の都市計画道路を10年以内に進めるような資料があったと思うが、その一方で、過去の市議会の会議録を見ると、道路は本納駅の駅舎を2階建て等にしてから整備する。さらに今のところ整備の考えは無いような答弁も見た。本納の拠点整備を進めていくことについて、具体的な動きやJR等を含めた都市計画は何か考えているのか。

A. 本納駅ですが、駅の利用者数が1日1526人、単純に2倍しますと3000人を超えましたので、いわゆる国とJRがバリアフリー化した場合の負担割合の算定要件を超えてまいりました。

ようやく今年度、目標を超えましたので、現在JR千葉の方とも、協議を始めており、私も国に要望のために伺っております。すぐ何かと

いうことはできませんが、まずバリアフリー化を含めて東口の改札の設置。今、地区計画となっており、都市計画があったところの再考を促す取り組みになると思えます。市長交代等がありまして、議会答弁等と少し相反する部分が出てきているところがあると思いますが、そこはしっかりと説明しながら進めたいと思えます。

この度の、「市長と話し合う会」の記録は、3月下旬頃から、市公式ウェブサイトで公開します（トップページ新着情報からご覧いただけます）。また、市役所1階情報公開コーナーや本納支所、図書館でも閲覧できます。

なお、公開する記録は、個人情報等への配慮により、一部修正していただきますのでご了承ください。

